

令和 7 年 1 0 月 1 日 から
令和 8 年 3 月 3 1 日 まで } 財 政 状 況 目 次

ま え が き

- 1 令和 7 年度予算について
- 2 令和 7 年度歳入歳出予算の執行状況について
 - (1) 一般会計歳入歳出予算の執行状況
 - (2) 消防指令センター特別会計歳入歳出予算の執行状況
 - (3) 基金
- 3 組合債及び一時借入金について
 - (1) 組合債
 - (2) 一時借入金
- 4 消防組合有財産について
- 5 令和 8 年度当初予算について
 - (1) 予算編成における基本的な考え方
 - (2) 一般会計歳入歳出予算の状況
 - (3) 消防指令センター特別会計歳入歳出予算の状況

む す び

ま え が き

海部南部消防組合の財政状況につきましては、毎年 2 回歳入歳出予算の執行状況等を公表しております。

今回は、令和 7 年度下半期における予算の執行状況並びに令和 8 年度の当初予算の概要について説明し、地域住民の皆様にご組合の財政状況について理解していただくとともに、今後の消防行政の運営に積極的な御協力をお願いしているものです。

1 令和7年度予算について

令和7年度の予算は、第1表のとおりです。

一般会計は、当初予算額1,701,234千円に対し、令和7年9月に20,075千円を追加補正し、1,721,309千円となり、令和8年2月の減額補正12,060千円を経て、最終予算額は1,709,249千円です。

消防指令センター特別会計は、補正額はありませので、当初予算額と同額の69,569千円が最終予算額です。

第1表 令和7年度予算の概要

(単位:千円)

区 分	当初 予算額 (A)	補正額		最終 予算額 (B)	割合 (%) B/A
		令和7年9月	令和8年2月		
一 般 会 計	1,701,234	20,075	△12,060	1,709,249	100.5
消防指令セン ター特別会計	69,569	0	0	69,569	100.0

2 令和7年度歳入歳出予算の執行状況について

(1) 一般会計歳入歳出予算の執行状況

一般会計における令和8年3月31日現在の執行状況は、第2表及び第3表のとおりです。

まず歳入(第2表)についてみますと、収入済額1,496,553千円で予算現額に対し87.6パーセントの収入率で、その内訳は、構成市村からの分担金及び負担金1,140,667千円、使用料及び手数料30,363千円、財産収入2,037千円、繰入金40,163千円、繰越金29,343千円、諸収入10,781千円、組合債243,200千円です。

次に歳出(第3表)では、支出済額1,369,592千円で予算現額に対し80.1パーセントの執行率で、その内訳は、議会費66千円、総務費390,449千円、消防費946,878千円、公債費32,199千円です。

なお、令和7年度予算の収入・支出は、出納整理のため令和8年5月31日まで引き続き行われます。

第2表 令和7年度一般会計予算執行状況 [歳入]
(令和8年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	予算現額	収入済額	収入率 %
分担金及び負担金	1,142,167	1,140,667	99.9
使用料及び手数料	28,319	30,363	107.2
国庫支出金	2	0	0.0
県支出金	1	0	0.0
財産収入	1,101	2,037	185.0
寄附金	1	0	0.0
繰入金	229,954	40,163	17.5
繰越金	29,343	29,343	100.0
諸収入	7,361	10,781	146.4
組合債	271,000	243,200	89.7
合 計	1,709,249	1,496,553	87.6

(科目ごとに四捨五入しているため、合計と異なります。)

第3表 令和7年度一般会計予算執行状況 [歳出]
(令和8年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	予算現額	支出済額	執行率 %
議会費	596	66	11.1
総務費	437,331	390,449	89.3
消防費	1,235,351	946,878	76.6
公債費	32,471	32,199	99.2
予備費	3,500	0	0.0
合 計	1,709,249	1,369,592	80.1

(2) 消防指令センター特別会計歳入歳出予算の執行状況

消防指令センター特別会計における令和8年3月31日現在の執行状況は、第4表及び第5表のとおりです。

歳入の内訳は、津島市、愛西市、蟹江町及び海部東部消防組合からの負担金58,215千円、海部南部消防組合一般会計からの繰入金11,350千円です。

歳出は、支出済額25,629千円で予算現額に対し36.8パーセントの執行率です。非常用自家発電設備基礎工事の入札が不調となり、5,000千円が繰越明許費として繰り越しました。

なお、令和7年度予算の収入・支出は、出納整理のため令和8年5月31日まで引き続き行われます。

第4表 令和7年度消防指令センター特別会計予算執行状況 [歳入]
(令和8年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	予算現額	収入済額	収入率 %
分担金及び負担金	58,215	58,215	100.0
国庫支出金	1	0	0.0
繰入金	11,350	11,350	100.0
繰越金	1	51	5,100.0
諸収入	2	158	7,900.0
合 計	69,569	69,773	100.3

第5表 令和7年度消防指令センター特別会計予算執行状況 [歳出]
(令和8年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	予算現額	支出済額	執行率 %
消防指令センター費	64,557	25,629	39.7
諸支出金	12	0	0.0
予備費	5,000	0	0.0
合 計	69,569	25,629	36.8

(3) 基金

基金は、法令の定めに基づく資金の積み立て、又は運用を行うもので、当組合には財政の年度間調整のための財政調整基金と消防車両等の施設整備を目的とした消防施設整備基金があります。

令和8年3月31日現在における基金の状況は、第6表のとおりです。

なお、財政調整基金の令和8年3月31日現在高は、利息を含めております。

第6表 基金の状況

(単位:千円)

区分	令和7年9月 30日現在高	令和7年10月1日から 令和8年3月31日まで		令和8年3月 31日現在高
		積立金	取崩額	
財政調整基金	74,346	271	39,750	34,867
消防施設整備基金	275,172	46,794	0	321,966

3 組合債及び一時借入金について

(1) 組合債

組合債は、消防車両の購入や庁舎建設など多額な費用を一時に必要とする事業の財源として、組合の信用において長期の資金の借入を行うものです。

令和7年9月30日現在高の2,168,117千円に対し、新たに270,600千円を発行し、令和8年3月31日現在高は、2,434,789千円となりました。その内訳は第7表のとおりです。

第7表 組合債の状況

(単位:千円)

起債目的		令和7年 9月30日 現在高	令和7年10月1日から 令和8年3月31日まで		令和8年 3月31日 現在高
			借入額	元金償還額	
令和4年度 借入金	消防指令業務 の共同運用整 備事業負担金	7,167		478	6,689
令和5年度 借入金	新庁舎建設工 事	667,400			667,400
令和5年度 借入金	消防指令業務 の共同運用整 備事業負担金	58,650		3,450	55,200

令和6年度 借入金	新庁舎建設工 事	1,322,800			1,322,800
令和6年度 借入金	消防指令業務 の共同運用整 備事業負担金	112,100			112,100
令和7年度 借入金	新庁舎建設工 事		202,300		202,300
令和7年度 借入金	指令の共同運 用		1,900		1,900
令和7年度 借入金	はしご車		66,400		66,400
合計		2,168,117	270,600	3,928	2,434,789

(2) 一時借入金

一時借入金は、分担金及び負担金、国庫支出金、県支出金等の収入が、これらを財源とする事業費等の支払時期と必ずしも一致しないため、歳計現金に一時的な不足が見込まれるとき、その不足を補うために借入れる資金をいい、年度内の収入をもってこれを返済しなければならないもので、令和7年度中の一時借入金は、ありません。

4 消防組合有財産について

消防組合有財産の取得、管理、処分等については、常に万全を期し、住民の皆様の利益と行政目的に沿うよう有効適切な運営をしています。

第8表は、令和8年3月31日現在の消防組合有財産の状況です。

第8表 消防組合有財産の状況

区 分		数 量		
		令和8年3月31日 現在 (A)	令和7年9月30日 現在 (B)	差 引 (A)－(B)
土地	本 署	13,734.79㎡	13,734.79㎡	0㎡
	分 署	5,055.0㎡	5,055.0㎡	0㎡
建物	本 署	3,712.56㎡ (475.74㎡)	3,712.56㎡ (475.74㎡)	0㎡
	分 署	753.82㎡	753.82㎡	0㎡
	出張所	224.68㎡	224.68㎡	0㎡
動 産	消 防 自 動 車	16台	16台	0台
	救 急 自 動 車	4台	4台	0台
	その他の車両	7台	7台	0台
	原動機付自転車	6台	6台	0台
	舟 艇	7艇	7艇	0艇
	小型動力ポンプ	2台	2台	0台
	フロートジェットポンプ	1台	1台	0台
	津波・大規模風水害 対策資機材	1式	1式	0式
	動力油圧救助器具	1式	1式	0式
	電動油圧救助器具	2台	2台	0台
	高度救助用資機材	1式	1式	0式
	空気拡張式テント	1式	1式	0式
	高機能消防 通信指令施設	0組	1組	△1組
	消防救急デジタル 無線施設	1組	1組	0組
	署内ネットワーク 設備	1組	1組	0組

	総合通信 ネットワーク設備	1 組	1 組	0 組
--	------------------	-----	-----	-----

備考 1 () 内は、訓練塔、別棟倉庫、車庫

2 出張所用地については、飛島村から借用 (500 m²)

出張所建物は、建築面積 224.68 m²のほか飛島村から 200 m²
(飛島村消防団車庫) を借用し、延べ面積 424.68 m²です。

5 令和8年度当初予算について

(1) 予算編成における基本的な考え方

我が国の景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。先行きについては、雇用、所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要であり、加えて、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要があるとされている。

このような中、国は「令和8年度予算の概算要求について」(令和7年8月8日閣議了解)において、「経済財政運営と改革の基本方針2025」等に基づき、歳出全般にわたり、施策の優先順位を洗い直し、予算の中身を大胆に重点化することとし、要求・要望は賃金や調達価格の上昇を踏まえて行い、予算編成過程において、経済・物価動向等を適切に反映することとされている。

義務的経費のうち人件費については、人事院勧告を踏まえ予算編成過程で対応し、その他の義務的経費については、各経費ごとの義務的性格に基づき所要額を要求することとされており、その他の経費については、前年度当初予算に相当する額の範囲内で要求したうえで、物価高対策を含む重要政策の推進のため、その額に100分の20を乗じた額の範囲内で要望可とされている。

また、物価高対策を含む重要政策等については、必要に応じて、事項のみの要求も含め、適切に要求・要望を行い、予算編成過程において検討することとされている状況である。

(2) 一般会計歳入歳出予算の状況

ア 歳入予算の状況

歳入予算を科目別に対前年比較で表したものが第9表のとおりです。歳入予算は、構成市村からの分担金及び負担金が95.2パーセントを占め、その他としましては、使用料及び手数料(危険物施設の許可等の手数料)、財産収入(基金利子)、繰入金(財務書類作成支援業務に係る特別会計分)、繰越金(前年度繰越金)、諸収入(高速自動車道路救急業務助成金)です。

第9表 令和8年度一般会計歳入予算規模の対前年度比較

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算額 (A)	令和7年度 当初予算額 (B)	比較増減 差引 (A) - (B)
分担金及び負担金	1, 174, 725	1, 142, 167	32, 558
使用料及び手数料	29, 015	28, 319	696
国 庫 支 出 金	2	2	0
県 支 出 金	1	1	0
財 産 収 入	701	369	332
寄 附 金	1	1	0
繰 入 金	415	193, 814	△193, 399
繰 越 金	20, 000	10, 000	10, 000
諸 収 入	9, 539	7, 361	2, 178
組 合 債	0	319, 200	△ 319, 200
合 計	1, 234, 399	1, 701, 234	△ 466, 835

イ 歳出予算の状況

歳出予算を科目別に対前年比較で表したものが第10表のとおりです。歳出予算が最も多いのは、消防費で全体の82.1パーセントを占めます。

経費の内容は、人件費が91.4パーセントで、残りの8.6パーセントは、物件費、維持補修費、補助費、普通建設事業費及び繰出金です。人件費以外で主なものは、消防指令業務の共同運用に係る整備事業負担金16,902千円、消防救急デジタル無線の共同整備負担金1,945千円、県防災行政無線次世代工事負担金3,837千円、愛知県消防学校教育に係る負担金2,630千円及び海部地方消防指令センター運営に係る特別会計への繰出金7,018千円です。

第10表 令和8年度一般会計歳出予算規模の対前年度比較

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算額 (A)	令和7年度 当初予算額 (B)	比較増減 差引 (A) - (B)
議 会 費	596	596	0
総 務 費	162, 598	421, 990	△ 259, 392
消 防 費	1, 013, 805	1, 247, 241	△233, 436
公 債 費	53, 900	27, 907	25, 993
予 備 費	3, 500	3, 500	0
合 計	1, 234, 399	1, 701, 234	△ 466, 835

(3) 消防指令センター特別会計歳入歳出予算の状況

ア 歳入予算の状況

消防指令センター特別会計の歳入予算は、第11表のとおりです。分担金及び負担金は、津島市、愛西市、蟹江町及び海部東部消防組合からの負担金です。繰入金は、当組合一般会計からの繰入金です。諸収入については、預金利子、雑入です。

第11表 令和8年度消防指令センター特別会計歳入予算

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算額 (A)	令和7年度 当初予算額 (B)	比較増減 差引 (A) - (B)
分担金及び負担金	35,048	58,215	△ 23,167
国 庫 支 出 金	1	1	0
繰 入 金	7,018	11,350	△ 4,332
繰 越 金	1	1	0
諸 収 入	2	2	0
合 計	42,070	69,569	△ 27,499

イ 歳出予算の状況

消防指令センター特別会計の歳出予算は、第12表のとおりです。主なものは、名古屋市との指令の共同運用に伴い、海部地方消防指令センターの通信網を継続利用するための光ファイバ専用線サービス利用料10,692千円及び消防救急デジタル無線保守委託料18,049千円です。

第12表 令和8年度消防指令センター特別会計歳出予算

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算額 (A)	令和7年度 当初予算額 (B)	比較増減 差引 (A) - (B)
消防指令センター費	37,058	64,557	△ 27,499
諸 支 出 金	12	12	0
予 備 費	5,000	5,000	0
合 計	42,070	69,569	△ 27,499

む す び

以上、令和7年度の予算及び令和8年度の当初予算を中心に説明してまいりました。

社会状況と経済状況は、日々変化し、私たちの働き方や生活様式も急速に変化しています。同時に、個人の権利と利益に関する主張も多様化しています。このような中で、構成市村からの負担金がますます厳しくなる中、行政の実行をより簡素化し、効率的なものにすることを目指して、行政の制度と運営に対して絶え間ない見直しを行い、改革と合理化を着実に進めていきます。

以上、あらましについての説明を終えるにあたり、地域住民の皆様の生命、身体、財産を守るのが消防の使命と心得、この地域が、安全で住み良い街であるように、職員一同の全精力を挙げ確実な消防行政を進めて参りたいと考えております。どうか、消防行政に深い御理解と御支援、御協力をいただきますようお願いいたします。